



## 一人一人が安全意識を高めることが大切です

毎日、全国あちこちで交通事故が起こっています。中でも、小学生が巻き込まれるという報道を目にすると胸が痛くなります。学校周辺の道路を歩いたり、交差点に立ったりして、交通指導を行っていても、ヒヤッとする場面に出会うことがあります。先日見たニュースでは、子どもたちが事故に遭う時間帯は、下校時間が多いそうです。実際、本校でも下校の際に、安全に気を付けて帰るように繰り返し指導を行っています。特に、学年によって下校時刻に差がありますから、低学年だけで下校することもあります。子どもたちの中には遊びながら帰ることも多く、歩道幅いっぱい広がる、突然飛び出す、おしゃべりに夢中になってまわりに目がいていない…といったことで、保護者や地域の方、ドライバーの方から注意を受けることもしばしばあっています。先日も、横断歩道を走って渡る素振りを何度も見せたり、歩道ですが追いかけてこをしながら帰ったりといったことで、「ひやっとした、危なかった」という連絡をいただきました。通学路といえども、見通しが悪い箇所、車や自転車等の通行量の多い道路もあります。雨の日は傘をさすことで、視界がせまくなりますから、いつも以上に気を付ける必要があります。保護者の方には黄色のたすきをかけたの登下校の見守りや、地域の方も一緒になって交通指導にもご協力いただいています。学校でも今後も繰り返し指導を続けていきますが、当の子どもたち自身が安全意識を高めないことには、防ぎようも守りようもありません。こうした行動をしていたらどうなるか、このままでは危ないぞ！ということ、各自が考えて行動にうつしていくしかありません。大人の私たちも同様で、何かあってからでは間に合いませんし、悔やむに悔やみきれません。どうぞご家庭でも機会をとらえて、話をしてください。そして、子どもたちの登下校時や休日など、もしも危ない場面を目にされた時には、その時その場で声をかけていただくと助かります。一人一人が安全意識を高めてほしいと思います。



## 休み時間も子どもたち

### は元気いっぱい!

天気のいい日に、運動場を元気いっぱいにかき回っている子どもたちの姿を見ると、こちらも自然と元気になります!池の近くでは、虫探しを一生懸命やっている子どももいました。

